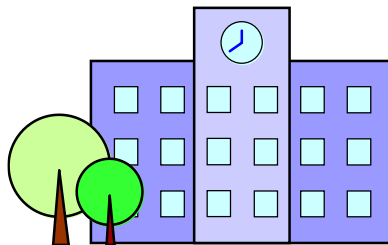


令和8年度
鈴鹿市立鈴峰中学校

シラバス

(3年生)



3年 組 席 名前

目次

国語

社会

数学

理科

音楽

美術

保健体育

技術

家庭

英語

道徳

評価の出し方

教科名	国語	週時間数	3	学年	3
使用教科書及び副教材等	教科書 国語3 (光村図書) 中学書写1, 2, 3年 (光村図書) 副教材 新・国語の便覧 (正進社) くりかえし漢字3 (秀学社) 国語スイッチ3 (正進社) 積み上げ (明治図書) つまづかない文法 (新学社)				

指導の重点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学びに向かう態度」							
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、国語に対する興味関心を高める。 ・自分の見方や考え方を深め、表現の仕方に注意して、話すこと、聞くこと、書くことができるようにする。 ・様々な文章を読み、目的や意図に応じて読み取る能力を育てる。 ・国語の基礎的な事項や知識を身につけさせる。 							
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・chromebookの活用を基本に、教科書の内容を中心に進める。 ・探究的な学習の過程を意識し、課題や学習方法を生徒自ら選択し、学習を進めていく。 ・漢字の小テストや単元テストなど確認テストを適宜行い、基礎知識や表現力などを身につけさせる。 							
定期テスト	出題方針	授業内容を中心に問題を出題する。(読解問題・言語・作文問題など)						
	範囲(予定)	1学期期末	小説	論説	漢文	漢字	文法	作文
		2学期中間	詩	小説	漢字	文法	作文	
		2学期期末	論説	古典	漢字	文法	作文	
学年末		論説	古典	漢字	文法	作文		
学習方法 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中して取り組む。課題は自分で考える習慣を身につける。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、友達の学び方を参考にする。 ・提出物の期限を守る。 ・家庭学習の時間を確保する。・読書をする。新聞を読む。 							

観点	評価規準	評価方法
評価	①知識・技能 <u>言葉の特徴や使い方に関する事項</u> ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこと。 <u>情報の扱い方に関する事項</u> ・具体と抽象など情報と情報との関係について、理解を深めること。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し、使うこと。 <u>我が国の言語文化に関する事項</u> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。 ・書写に関する次の事項を理解し使うこと。身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。	・定期テスト ・小テスト ・単元テスト ・行動観察
	②思考・判断・表現 A 話すこと・聞くこと ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 B 書くこと ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 C 読むこと ・文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。	・定期テスト ・小テスト ・単元テスト ・行動観察
	③主体的に学習に取り組む態度 ・各単元の内容の必要性や意味について考えようとしている。 ・各単元の内容について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・各単元の内容を活用した問題解決の過程を振り返り評価、改善しようとしている。	・振り返り ・ワーク等の提出内容 ・行動観察

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	深まる 学びへ	・「世界はうつくしいと」	1	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の工夫に注意しながら読む。 ・場面設定の仕方や登場人物の描かれ方を読み取る。 ・スピーチを聞き、意見や根拠の適切さを判断する。 ・文法の知識を生かして表現や読解に生かす。 ・相手を説得するために構成を工夫する。 ・相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、適切な表現の選び方を考える。 ・歴史的背景などに注意して古典の世界に親しむ。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 ・目的や意図に合わせて情報を集め、文章を書く。 ・さまざまな熟語の読み方を理解する。 ・俳句を詠み、批評したり考えたことを伝えあったりする。 ・筆者のものの見方や考え方について話し合う。 ・時間の経過による言葉の変化について理解する。 ・実用的な文章を読み、実生活への生かそうとする。
			・「握手」	5	
	5	視野を 広げて	・意見を聞き、適切さを判断する	1	
			・文法への扉1	3	
			・説得力のある構成を考えよう	3	
			・言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	1	
			・「学びて時に之を習ふ」	4	
6	言葉と ともに	・「作られた「物語」を超えて」	4		
		・論理の展開を意識して書こう	4		
		・漢字1 熟語の読み方	1		
		・「俳句の可能性」	2		
		・俳句を味わう	4		
		・「言葉の釣り糸を垂らす」	2		
7		・言葉2 和語・漢語・外来語	1		
		・実用的な文章を読もう	3		
2	9	状況の 中で	・「挨拶—原爆の写真によせて」	2	<ul style="list-style-type: none"> ・詩と現代社会の状況を重ね合わせて自分の考えをまとめる。 ・文章を批判的に読み、自分の言葉でまとめる。 ・慣用句・ことわざ・故事成語を理解し、活用する。 ・相手の思いに迫れる質問は何か考える。 ・漢字の意味を考え、読んだり書いたりする。 ・文章を比較して根拠を明確にしながら自分の意見をまとめる。 ・表現の仕方を工夫し、観点を決めて批評文を書く。 ・単語の識別方法を理解し、適切に選択できる。 ・詩と自分の経験を結び付けて想像する。 ・和歌に詠まれた背景を想像し、情景や心情を読み取る。 ・歴史的背景に注意して読み、作者のものの見方や考え方を捉える。 ・古典の言葉を引用し、メッセージを伝える。 ・言葉との向き合い方について自分の意見を持つ。 ・進行役の発言の効果を考える。 ・課題解決に向けて会議を開き、合意形成を目指す。 ・毛筆・硬筆の作品作りに取り組む。
			・「故郷」	6	
			・言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	2	
	10	自らの 考えを	・聞き上手になろう	1	
			・漢字2 漢字の造語力	1	
			・複数の意見を読んで、考えよう	3	
	11	いにし えの心 を受け 継ぐ	・考えを効果的に伝えよう	5	
			・文法への扉2	2	
			・「初恋」	3	
			・「君待つと一万葉・古今・新古今」	4	
			・「夏草—「おくのほそ道」から」	5	
			・つながる古典	1	
12	価値を 生み出 す	・「それでも、言葉を」	5		
		・話し合いを効果的に進めよう	1		
		・合意形成に向けて話し合おう	4		
		・毛筆・硬筆	2		
		3	未来へ 向かっ て	・「暖かいスープ」	2
				・「アラスカとの出会い」	2
・「律儀な桜」	2				
2		・「わたしを束ねないで」	2		
		・三年間の歩みを振り返ろう	5		
3		・その他 受験に向けて	6		

教科名	社 会	週時間数	4	学年	3
使用教科書及び副教材等	教科書 歴史的分野「新しい社会 歴史」(東京書籍) 公民的分野「新しい社会 公民」(東京書籍) 副教材 歴史の完全学習(正進社) 公民の完全学習(正進社)				

指導の重点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学びに向かう態度」				
教科のねらい	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。				
授業の進め方	授業は教科書の内容を中心に、授業プリント等も使ってすすめていきます。課題への取り組みは自己解決だけでなく、グループ活動を用いて解決を目指すこともあります。また、単元テストを行い基礎学力の定着をはかります。 単元ごとにレポートの提出やプレゼン発表等のパフォーマンス課題を行います。その際はパソコンを使ったり図書室で調べ学習をしたりします。				
定期テスト	出題方針	授業で学習したことを中心に、教科書の内容に準じて観点別に問題を出題します。「知識・技能」では、覚えた知識を問うだけではなく、知識を十分に活用して資料を読み取る力をはかります。「思考・判断・表現」では、知識をどのように実生活や実社会に活かすかを問う問題も出題していきます。			
	範囲(予定)	1学期期末	二度の世界大戦と日本		
		2学期中間	現代社会と私たち、個人の尊重と日本国憲法		
		2学期期末	現代の民主政治と社会、私たちの暮らしと経済		
学 年 末	地球社会と私たち、公民のまとめ				
学習方法(アドバイス等)	授業に集中し、意欲的に課題に取り組もう。目的を明確にもって学習に取り組もう。ワークは繰り返し何度も行い学力の定着を図ろう。				

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解する ・ 立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解する ・ 日本の産業革命により、近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する ・ 第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する ・ 昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・外交の動き、戦時下の国民の生活などを基に、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する ・ 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で、新しい日本の建設が進められたことを理解する ・ 近現代の経済や科学技術の発展によって、国民生活が向上し、国際社会での日本が果たすべき役割が大きくなったことを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 単元テスト ・ 行動観察
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治政府の諸改革の目的や、諸外国の動きと外交、近代化による文化や経済への影響を相互に関連付けて近代の社会の変化の様子を多角的・多面的に考察したり表現したりする ・ これまでの既習事項を踏まえて、現在と未来の日本や世界の在り方について課題意識をもって考察・構想し、表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 行動観察 ・ パフォーマンス課題
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間めあてに対して自分なりの考えや感想を持ち、授業の内容を身につけようとしている ・ 各単元の内容について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ 各単元の内容を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りシートの内容 ・ 行動観察 ・ 提出物の記述内容

年 間 授 業 計 画 書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	開国と近代日本の歩み	オリエンテーション	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日清・日露戦争が起こった原因と、その後の国内外の様子を理解する
		二度の世界大戦と日本	日清・日露戦争と近代産業	6	

5	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と日本	5	・第一次世界大戦の背景とその影響を理解する	
		大正デモクラシーの時代	4	・第一次世界大戦前後の国際情勢と大戦後の国際協調の動きを理解する	
		世界恐慌と日本の中国侵略	6	・第二次世界大戦終結までの世界の経済・社会の混乱を理解する	
	6	第二次世界大戦と日本	第二次世界大戦と日本	10	・大戦が世界に及ぼした惨禍を理解する ・大戦中の日本国民の生活の様子や惨禍を後世に伝え、世界平和について発信できるようになる。
			期末テスト等	2	
	7	現代の日本と私たち	戦後日本の出発	4	・第二次大戦後の日本の民主化について理解する
			冷戦と日本の発展	4	・第二次大戦後の世界の動きを理解する
		新たな時代の日本と世界	4	・国際社会における日本の役割について理解する	
2	9	現代社会と私たち	2	・現代日本の課題について理解し、対策を考察する	
		私たちの生活と文化	2	・現代社会における文化の意義や影響について理解する	
		現代社会の見方や考え方	4	・対立と合意、効率と公正などについて理解する ・社会生活における物事の決定の仕方を考察できる	
	個人の尊重と日本国憲法	人権と日本国憲法	3	・日本国憲法の三原則を理解する	
		人権と共生社会	4	・基本的人権を中心に法の意義を理解する	
		これからの人権保障	2	・社会の変化と新しい人権について理解する	
			中間テスト等	2	
	10	現代の民主政治	現代の民主政治	4	・民主政治のあらましや政党の役割を理解する
			国の政治のしくみ	6	・三権分立の仕組みを理解し、それぞれの役割を理解する
			地方自治と私たち	4	・地方公共団体の政治の仕組みや住民の権利について理解する
	11	私たちの暮らしと経済	消費生活と市場経済	4	・身近な消費活動を中心に経済活動の意義を理解する
			生産と労働	10	・起業シミュレーションを通して企業について理解する
		期末テスト等	2		
12	地球社会と私たち	市場経済の仕組みと金融	4	・市場経済の考え方を理解し、市場価格の決め方や資源の分配について理解する	
		財政と国民の福祉	4	・財政及び租税の意義について理解する	
		これからの経済と社会	4	・日本の財政の課題について考える	
			2	・国家主権や領土について理解する	
3	1	地球社会と私たち	2	・国家主権や領土について理解する	
		国際社会の仕組み	4	・国際機構などの役割を理解する	
		さまざまな国際問題	2	・地球環境問題について理解を深め解決策を考察する	
		これからの地球社会と日本	2		
	学年末テスト	2			
2	総合演習	復習問題・模擬テスト等	16		
3		まとめ	2		

教科名	数 学	週時間数	4	学年	3
使用教科書及び副教材等	・「未来へひろがる数学3」(啓林館) ・「Wプリント」(新学社) ・「数学の問題ノート」(新学社) ・「数問チェックノート3」(新学社) ＊ 3学期に入試対策副教材を購入予定				

指導の重点	「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」				
教科のねらい	数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学と実社会との関連について理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。				
授業の進め方	授業は、基礎学力が確実に定着するように教科書の内容を中心にすすめていく。また、学習内容や方法を見直すなど自己の学習を調整し、学習をふりかえる時間を設定する。				
定期テスト	出題方針	教科書の内容に準じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」における基礎学力を問う問題を出題し、数学的に考える資質・能力の習熟度を計ります。			
	範囲(予定)	1学期期末	1.2年生の復習(朝学より)、確率(2年生)、箱ひげ図(2年生)、式の展開と因数分解、平方根		
		2学期中間	1.2年生の復習(朝学より)、二次方程式、関数 $y = ax^2$ 、図形と相似		
		2学期期末	1.2年生の復習(朝学より)、図形と相似、円の性質		
学 年 末		1.2年生の復習(朝学より)、三平方の定理、標本調査とデータの活用			
学習方法(アドバイス等)	授業に集中し関心を持って意欲的に問題に取り組み、例題を参考にして自分の力で解きましょう。また、間違えた問題については定着するまで何度も繰り返し解きましょう。				

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算ができる。公式を用いる簡単な式の展開や因数分解ができる。 ・数の平方根の必要性和意味を理解している。簡単な式の計算ができたり、具体的な場面で平方根を用いたりすることができる。 ・二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。因数分解や平方の形、解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。 ・関数 $y = ax^2$ について理解している。いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。 ・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解している。 ・円周角と中心角の関係を理解し、証明できることを知っている。 ・三平方の定理の意味を理解し、証明できることを知っている。 ・標本調査の必要性和意味を理解し、無作為による標本を整理できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・小テスト ・行動観察
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開や因数分解の方法を考察し表現できる。文字式で数量やその関係を捉え説明することができる。 ・数の平方根を含む式の計算方法や、二次方程式を解く方法を考察し表現できる。また、具体的な場面で活用できる。 ・関数 $y = ax^2$ として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフを関連付けて考察し表現できる。また、具体的な事象を捉え考察し表現できる。 ・図形の基本的な性質を論理的に確かめ、具体的な場面で活用できる。 ・円周角と中心角の関係を三平方の定理を見だし、具体的な場面で活用できる。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。母集団の傾向を推定し判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・小テスト ・行動観察
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の内容のよさを実感して粘り強く考え、学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、それらを活用した問題解決の過程を振り返って評価、改善しようとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク等の提出内容 ・振り返りの内容 ・行動観察

年 間 授 業 計 画 書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時 数	学 習 の ポ イ ン ト
1	4	1. 式の展開と因数分解	・式の乗法、除法	4	・単項式と多項式の乗法、多項式を単項式でわる除法の計算ができる。
			・乗法の公式	3	・式の展開の意味を理解し、多項式どうしの乗法の計算ができる。
			・因数分解	4	・乗法の公式を利用して展開ができる。
				4	・因数分解の意味を理解し、共通な因数をくくり出す因数分解ができる。
				5	・公式を利用して因数分解ができる。
			・式の計算の利用	5	・問題解決に式の展開や因数分解を利用することができる。

	5	2. 平方根	<ul style="list-style-type: none"> 平方根 平方根の値 有理数と無理数 真の値と近似値 根号をふくむ式の乗法、除法 	2	<ul style="list-style-type: none"> 平方根の存在を知り、数の概念を広める。 平方根の値を調べ、およその値を求めることができる。 有理数と無理数の意味を理解する。 測定値と真の値の誤差から、真の値の範囲を考える。 有効数字をはっきりさせて近似値を表すことができる。
	6		<ul style="list-style-type: none"> 根号をふくむ式の計算 平方根の利用 	3	<ul style="list-style-type: none"> 根号のついた数の乗法、除法の計算ができる。 根号のついた数の近似値を求めることができる。 分母を有理化することができる。 根号のついた数の加法、減法の計算ができる。
	7	3. 二次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 二次方程式とその解き方 二次方程式の解の公式 二次方程式と因数分解 二次方程式の利用 	4	<ul style="list-style-type: none"> 分配法則や乗法の公式を使って、根号のついた数をふくむ式を計算することができる。 根号のついた数を式に代入して、式の値を求めることができる。 平方根を活用して、問題を解決することができる。
2	9	4. 関数 $y = ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> 関数 $y = ax^2$ 関数 $y = ax^2$ のグラフ 関数 $y = ax^2$ の値の増減と変域 関数 $y = ax^2$ の変化の割合 関数 $y = ax^2$ の利用 	3	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数で表せない事象について新しい関数としてとらえることができる。 関数 $y = ax^2$ について、そのグラフの特徴を理解し、かくことができる。
	10		<ul style="list-style-type: none"> いろいろな関数の利用 	4	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの事象の中から関数 $y = ax^2$ の関係を見つけ、それを利用して問題を解決することができる。 グラフが階段状になる関数などを知る。
	11	5. 図形と相似	<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形 三角形の相似条件 三角形の相似条件と証明 平行線と線分の比 中点連結定理 相似な図形の面積 相似な立体の表面積・体積 相似の利用 	3	<ul style="list-style-type: none"> 相似の意味や、相似な図形の性質を理解する。 相似な図形の性質を使って、相似な図形の辺の長さを求めることができる。 三角形の相似条件について理解する。 相似条件を利用して図形の性質を証明することができる。 三角形と比の性質を理解し、その性質を使って、線分の長さを求めることができる。 三角形と比の性質の逆を理解し、その性質の逆を使って、平行な線分を見つけることができる。
	12	6. 円	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角 円周角の定理の逆 円の性質の利用 	6	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と線分の比の定理を理解し、それを使って線分の長さを求めることができる。 中点連結定理を理解し、それを用いて図形の性質を証明することができる。 相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解し、それを使って、問題を解決することができる。 立体の相似の意味を理解する。 相似な立体の相似比と表面積、体積の比の関係を理解し、それを使って、問題を解決することができる。 相似な図形を活用して、問題を解決することができる。
3	1	7. 三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理 平面における線分の長さや面積 空間における線分の長さや体積 	3	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理について理解し、それを使って辺の長さを求めることができる。 三平方の定理の逆について理解し、3辺の長さが与えられた三角形が直角三角形かどうかを調べることができる。
	2	8. 標本調査とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の方法 母集団と標本の関係 データを活用して、問題を解決しよう 	8	<ul style="list-style-type: none"> 正方形や長方形の対角線の長さ、正三角形や二等辺三角形の高さを求めることができる。 座標平面上の2点間の距離を求めることができる。 直方体の対角線の長さ、錐体の高さや体積を求めることができる。 身のまわりの事柄に三平方の定理を活用することができる。
	3		3年間の復習	3	<ul style="list-style-type: none"> 全数調査、標本調査、母集団、標本の意味を理解し、適切な標本の取り出し方ができる。 母集団の平均値と標本の平均値の関係について理解する。 標本調査の結果をもとに、母集団における数量の割合を推測することができる。 標本調査の結果をもとに、母集団全体の数量を推測することができる。 標本調査を活用して、身のまわりの事柄を調べることができる。
				24	

教科名	理科	週時間数	4	学年	3
使用教科書及び副教材等	「教科書サイエンス3」(啓林館) 「理科の完全学習」(正進社) 「観点別評価ミニテストCRE」(明治図書)				

指導の重点	問題解決能力、思考力		
教科のねらい	<p><第1分野>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。</p> <p><第2分野>生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な能力を育成する。</p>		
授業の進め方	授業は、プリント・chrome・資料集などで詳しい図表を示し、プロジェクターなどの視聴覚機器も有効に活用する。実験・観察では班別で全員が関わられるように工夫する。単元テストや用語チェックテストなどを行う。		
定期テスト	出題方針	授業中に行った内容を中心に、観点別の問題を出題する。「知識・技能」に関しては、自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則の理解についての問題や、授業で行った実験を中心に、目的や安全に行う注意点、結果についての問題を出題する。「思考・判断・表現」に関しては、モデル図などを使って基本的な概念や原理・法則を説明するような科学的な見方や考え方についての問題を出題する。	
	範囲(予定)	1学期期末	地球の大気と天気の変化、運動とエネルギー、運動とエネルギー、生命の連続性
		2学期中間	生命の連続性、化学変化とイオン
		2学期期末	化学変化とイオン、宇宙を観る
学年末		宇宙を観る、自然と人間	
学習方法(アドバイス等)	授業を大切にすること。復習は自主学習・プリントを中心に、モデル図、表、グラフ、実験図や方法、結果、安全に関する注意点などを確認しておくこと。		

評価	観点	評価規準	評価方法
	① 知識・技能	物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 単元テスト・小テスト プリントの内容 行動観察(発言・発表)
② 思考・判断・表現	物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見だし、表現するなど、科学的に探究している。	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 単元テスト プリントの内容 行動観察(発言・発表) 	
	③ 主体的に学習に取り組む態度	物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> プリントの内容 ワーク等の提出内容 振り返りの内容 行動観察(発言・発表) 調べ学習

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	運動とエネルギー	力の合成と分解	10	<ul style="list-style-type: none"> 水中の物体にはたらく力 力の合成 力の分解
	5		物体の運動	15	<ul style="list-style-type: none"> 運動の調べ方 力がはたらいているときの運動 力がはたらいていないときの運動 作用、反作用
	6		仕事とエネルギー	10	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の原理 仕事率 力学的エネルギー 力学的エネルギー保存の法則
	7	生命の連続性	多様なエネルギーとその移り変わり エネルギー資源とその利用	6	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの移り変わり エネルギーの供給
			生物のふえ方と成長	6	<ul style="list-style-type: none"> 有性生殖と無性生殖

			遺伝の規則性と遺伝子	15	<ul style="list-style-type: none"> ・染色体と減数分裂 ・遺伝の法則・細胞分裂
2	9		生物の種類の多様性と進化	6	<ul style="list-style-type: none"> ・進化 ・相同器官
		化学変化とイオン	水溶液とイオン	10	<ul style="list-style-type: none"> ・電解質と非電解質 ・原子の成り立ちとイオン ・イオン記号、イオン式
	10		電池とイオン	5	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンへのなりやすさ ・電池
			酸・アルカリと塩	10	<ul style="list-style-type: none"> ・酸性、アルカリ性 ・酸、アルカリ ・イオン ・中和
	11	宇宙を観る	地球から宇宙へ	10	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽 ・太陽系、惑星 ・
	12		太陽と恒星の動き	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日周運動 ・南中高度 ・年周運動 ・黄道
3	1		月と金星の動きと見え方	10	<ul style="list-style-type: none"> ・月 ・金星
	2	自然と人間	自然界のつり合い さまざまな物質の利用と人間 科学技術の発展 人間と環境 持続可能な社会をめざして	10	<ul style="list-style-type: none"> ・食物連鎖 ・生物量ピラミッド ・生態系におけるつり合い ・生態系での物質の移動 ・土の中の動物と微生物のはたらき ・大気汚染の調査 ・地球温暖化 ・自然の恵みと災害 ・科学技術の利用 ・宇宙・海洋開発 ・資源の利用と環境保全
		3年間の復習		12	
	3				

教科名	音楽	週時間数	1	学年	3
使用教科書及び副教材等	教科書 中学生の音楽 2.3 下 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) 副教材 MY SONG (教育芸術社) 音楽のハーモニー 2.3 下 (正進社)				

指導の重点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的の学びに向かう態度」				
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。 				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めに発声練習を行う。 ・授業は一斉授業の形で進める。 ・合唱は、必要に応じてペアやグループ、パートごとに練習する。 ・授業の終わりに自己評価プリント等で反省とまとめ、次回への課題を採る。 				
定期テスト	出題方針	授業の内容を中心に出题する。			
	範囲(予定)	1学期期末	1学期のまとめ		
		2学期中間			
		2学期期末	2学期のまとめ		
	学 年 末	1年間のまとめ			
学習方法(アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の約束を守る(遅刻しない・忘れ物をしない・集中して課題に取り組む) ・実技テストでは、自分の力を充分に出せるようにすること。 ・活動に積極的に参加し、目的意識を持って取り組むこと。 				

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱等の音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実技テスト
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・実技テスト ・鑑賞ワーク提出
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻・忘れ物・提出物 ・発表 ・行動観察 ・振り返りプリント

年 間 授 業 計 画 書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時 数	学 習 の ポ イ ン ト
1	4	歌唱・指揮	オリエンテーション「校歌」	1	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を理解し、言葉とリズムがどのように結び付いているかを確かめ強弱の変化を生かした表現を工夫する。
	5		「花」 「楽しい発声のドリル①③」	3	
	6	鑑賞	鑑賞曲「ポレロ」 オーケストラの楽器	2	<ul style="list-style-type: none"> ・曲全体を通して繰り返されるリズムと旋律を感じ取りながら鑑賞する。
	7	合唱	合唱コンクールに向けて	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自由曲を決定する。 ・指揮者・伴奏者を決める。 ・主旋律と副次的な旋律のしくみを理解し、それらを生かして歌う工夫をする。

2	9	合唱	各クラスの合唱曲	8	<ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割を意識し、全体の響きに調和した表現を工夫する。 ・お互いの演奏を聴き合い評価し合う中で、一つの音楽をつくることの楽しさやすばらしさを感じ取る。
	10				
		歌唱	「花の街」	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歌の美しさを味わいながら、旋律の特徴やフレーズを感じ取り、それぞれの部分になぜその強弱記号がついているのかを考え、音楽表現を工夫する。
	11				
		鑑賞	「ブルタバ」	3	<ul style="list-style-type: none"> ・標題や当時の背景を手がかりに、曲に託された思いを感じ取る。 ・楽器の音色・旋律の特徴、速度の変化などに気を付けながら良さや美しさを鑑賞する
	12	鑑賞	日本の伝統芸能 「能」 「敦盛」	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統芸術に親しみ、その良さを味わう。
		合唱	卒業式の歌	1	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と共に歌う喜びを感じ、3年間のまとめとして気持ちを込めて歌う。
3	1	音楽のまとめ	音楽のまとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を構成する要素のまとめをおこなう。
	2	合唱	著作権法について	4	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権法について理解を深める。
	3		卒業式の歌	4	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と共に歌う喜びを感じ、3年間のまとめとして気持ちを込めて歌う。

教科名	美術	週時間数	1	学年	3
使用教科書及び副教材等	教科書「美術2、3」 光村図書 レタリング字典 秀学社 美術資料 秀学社				

指導の重点	「知識技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」		
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 ・対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し想像する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 ・自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、作品のよさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。 		
授業の進め方	授業は、作品の制作だけでなく、美術資料・クロムブックなどで知識や技能を幅広く身に付けられるようにする。また、自己評価シート・オクリンク等を使って授業への取り組みを振り返り、次の制作に活かせるようにする。鑑賞では、教科書・美術資料・クロムを使った検索・生徒作品等を鑑賞し、ワークシート等を使って自分の感想・意見を述べられるようにしていく。		
定期テスト	出題方針	実技テスト中心。授業中に学習した内容を出題する。	
	範囲(予定)	1学期期末	実技課題。授業内での知識・理解問題
		2学期中間	
		2学期期末	実技課題。授業内での知識・理解問題
		学年末	美術的総合力に関わる実技課題。知識・理解問題
学習方法(アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に意欲的、積極的に取り組む。 ・チャイム着席、作業の準備、後かたづけがしっかりできるようにする。 ・提出物は期日を守って必ず提出する。 ・私語は慎み、根気よく制作に集中する。 ・各自の制作に必要な資料や材料を準備し、制作に生かすことができるようにする 		

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・美術や文化についての知識、基礎的な技法について理解することができているか。 ・自然や身近なものを深く観察し、形や色彩の特徴や美しさをとらえて表現することができているか ・表現の基礎的技法を理解し、制作することができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品、ワークシートなど ・行動観察 ・定期テスト
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な角度から発想し、構想を練ることができているか ・制作過程において、修正、検討しながら、自分らしい表現を心がけることができているか ・自分の表現意図にあった材料・用具を生かして創意工夫し、制作することができているか。 ・作品の良さや美しさを感じ、味わうことができているか ・作者の心情や意図、表現の工夫を感じ取るができているか ・美術と社会や生活との関わりについて、気づくことができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品、ワークシートなど ・行動観察 ・定期テスト
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関心を持ち、意欲的、積極的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができているか。 ・制作するための資料を探し用意するなど主体的に取り組めるか ・作品の意図を発表したり、他の生徒作品や発表に関心を持つことができているか。 ・資料や材料・用具の準備、後片付けができているか ・作品やワークシート等、提出期限を守って提出することができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容 ・授業中の発言 ・行動観察 ・自己評価 ・定期テスト

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	美術の学習	・授業内容、美術の教材等、留意事項のオリエンテーション	1	・美術の楽しみ、授業の形態、留意事項や年間の授業予定を知り、意欲を持って授業に臨むことを伝える
	5	デザイン	・だるま制作	6	・だるまについて理解する ・これからの目標を込めて作品制作をする
	6	鑑賞	・友達作品を鑑賞する	1	・友達作品を鑑賞し、頑張っているところ、技術的に優れているところなどを見つけ、お互いを高めあう。
	7	鑑賞	・日本美術史	6	・日本の美術の流れを理解する ・美術作品がどのように変化してきたかを学び、どのように現代美術につながってきたかを学ぶ
		ポスター	・ポスターの描き方	1	・夏休みのポスターに今まで学習してきた技法を使い時間をかけて制作していく
2	9	工芸	・サンドブラスト	8	・サンドブラストという工芸技法を学び、家庭でこれからも大切に使える作品を制作する
	10	デザイン	・トリックアート	4	・透視図法などの遠近法を使い作品を制作する ・目の錯覚や効果を理解する
	11	絵画	・卒業制作 パネル製作	7	・パネル製作 自分の好きな絵画を今まで学習した技法などを使って作品を表現する
	12				
3	1	鑑賞	・卒業前の最後の作品を鑑賞する	1	・今まで学習してきたことが生かされているか、自分で工夫することができたかなどを鑑賞する
	2				

* 授業の制作進度などによっては、内容が変更になる場合もあります。

教科名	保健体育	週時間数	3	学年	3
使用教科書及び副教材等	教科書 「中学保健体育」学研 副教材 「中学体育実技」学研				

指導の重点	「学ぶ意欲」				
教科のねらい	保健体育科では「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。」という目標を達成するために、まず、「学ぶ意欲」を高めていきます。そこから自ら進んで活動し、個人（グループ）の課題（目標）を持って授業に取り組みやすくなるように考えます。そして、課題の解決を目指して考え・工夫する資質や能力、健康・体力の向上も期待できるものと考えます。				
授業の進め方	授業を進めるにあたって必要なこと（準備・片付け、初歩的なルールなど）を覚える。そして、基本的なこと（動作や技術、戦術など）を練習する。さらに、先生や友だちのアドバイスを参考にしながら、自分（たち）の課題（目標）を解決していくために、自ら進んで取り組み、考え・工夫したりしながら協力して練習や試合、記録計測をしていく。				
定期テスト	出題方針	授業中に説明したことや教科書、副教材から出題します。			
	範囲（予定）	1学期期末	1学期の範囲		
		2学期中間			
		2学期期末	2学期の範囲		
学年末		3学期の範囲を中心に全範囲			
学習方法（アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組む。 ○日頃から健康管理に努める。 ○指示をよく聞いて仲間と協力して活動（準備、片づけ、練習など）し、まわりの安全を考えて取り組む。 ○効果的で安全な活動をするため、基礎的な事柄（服装や身なりを整え、運動種目の規則を守るなど）に注意し取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・服装：学校指定の体操服を着用する。授業内容や気温によって、ウインドブレーカーや手袋の着用も認める。※体調不良等、特別な理由がある場合は連絡する。 ・安全のため、前髪は目にかからないようにする。髪が肩まで伸びていればゴムで束ねる。 爪も短く切りそろえておく。 				

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性、競技やルール、審判の方法を理解している。 ・安全や健康に対する基礎的な事柄が理解できている。（服装や身なり、場の設定、事故やケガの予防法） ・自己やグループの能力に応じた、技能・体力の高め方を理解できている。（課題の選び方、練習の仕方） ・自己の技能を精一杯発揮している。 ・授業に取り組む中で運動の特性に応じた技能の向上が見られる。 ・個人的技能や集団的スキルを記録会や試合などで発揮することができる。 ・ルール通りに審判や試合を行ったりすることができる。 ・現代の健康課題を踏まえた、健康や安全についての科学的な知識を理解することができる。 	授業観察 技能テスト 筆記テスト 単元シート など
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した運動を考え、工夫している。 ・自己やグループの課題解決を目指し、練習方法やルール、作戦などを考え、工夫している。 ・指示をよく聞き準備・片付けを素早く正確に行い、活動場所や器具の安全を確認するなど事故やケガの予防を考え活動している。 ・健康課題に応じた適切な情報を選択し、課題解決のための適切な意思を持つことができる。 	授業観察 単元シート など
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで運動し、仲間と協力しながら最後まで粘り強く取り組んでいる。 ・集合や整列など素早く行き、指示を集中して聞くなど、規律をもって授業に取り組んでいる。 ・勝敗や審判の判定、記録の結果などを公正な態度で受け入れている。 ・準備体操・整理体操など効果を意識して真面目に行っている。 ・健康の保持増進のための実践力を育成し、豊かな生活を営むことを意識して事業に参加している。 	授業観察 単元シート など

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	体づくり運動	・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト	10	・自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題をもって次の運動を行い、体ほぐしをしたり、体力を高めたりすることができる。
	5	体育理論	・文化としてのスポーツの意義	3	・生活の中でのスポーツの生かし方を理解する
	6	「選択」陸上競技 器械運動 ダンス	・短距離走、リレー、長距離走、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び ・マット運動、跳び箱 ・現代的なリズムのダンス	14	・自己の能力に適した課題をもって競技行い、その技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができる。 (陸上競技)
				8	・自己の能力に適した課題をもって競技行い、その技能を高め、技がより良くてできる。(器械運動) ・グループの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫することができる。 (ダンス)
7	水泳	・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ	8	・自己の能力に適した課題をもって競技を行い、その技能を高め、続けて長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。	
2	9	体づくり運動	・ラジオ体操 ・集団行動	4	・自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題をもって次の運動を行い、体ほぐしをしたり、体力を高めたりすることができる。
		健康と環境	・環境への適応能力 ・快適な環境の条件 ・空気の汚れと換気	4	・環境への適応能力について理解する。 ・温熱条件や明るさの至適範囲について理解する。 ・空気の汚れと換気について理解する。
	10	「選択」陸上競技 器械運動 ダンス	・短距離走、リレー、長距離走、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び ・マット運動、跳び箱 ・現代的なリズムのダンス	14	・自己の能力に適した課題をもって競技行い、その技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができる。(陸上競技)
				11	・自己の能力に適した課題をもって競技行い、その技能を高め、技がより良くてできる。(器械運動) ・グループの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫することができる。(ダンス)
		陸上	・持久走	4	・自己の能力に適した課題をもって競技を行い、その技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができる。
	12	健康と環境	・水の役割と飲料水の条件 ・生活にともなう廃棄物の処理 ・環境問題への取り組み	14	・健康や生活における水の役割や飲料水の条件について理解する。 ・生活による廃棄物の衛生的な処理の必要性について理解する。 ・環境汚染の健康への影響とその対策について理解する。
				「選択」球技 武道	・ゴール型、ネット型 ベースボール型 ・剣道
3	1	健康な生活と病気の予防	・感染症とその予防 ・性感染症の予防/エイズ	4	・感染症は、病原体が主な要因となって発生すること、また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解する。
		健康な生活と病気の予防	・保健・医療機関と医薬品の有効利用 ・共に健康に生きる社会	4	・個人の健康と集団の健康とは密接な関係があり、相互に影響し合うこと。また、健康を保持増進するためには、保健・医療機関を有効に利用することが大切であることを理解する。
	2	「選択」球技 武道	・ゴール型、ネット型 ベースボール型 ・剣道	14	・チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができる。(球技) ・伝統的な行動の仕方を守ることなどに意欲をもち、健康や安全に気を配り、礼法などの考え方を理解する。(武道)
	3				

教科名	技術	週時間数	0.5	学年	3
使用教科書及び副教材等	・New 技術家庭 明日を創造する 技術分野（教育図書）				

指導の重点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学びに向かう態度」		
教科のねらい	<p>生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>		
授業の進め方	<p>授業は、基本的な知識・技能が実践の中で生かせるように、課題に取り組む中で活用する。また、製作品の設計・製作では課題解決のための構想をもとに計画を立て、取り組んでいく。取り組みについて評価・改善・修正をする。</p>		
定期テスト	出題方針	授業や作業内容を中心に、「知識・技能」「思考・判断・表現」における基礎学力を問う問題を出題し、技術的な考え方や資質・能力の習熟度を計ります。	
	範囲(予定)	1学期期末	コンピュータの基本操作、情報通信ネットワークの仕組み、情報モラル、双方向性のあるコンテンツのプログラム
		2学期中間	
		2学期期末	コンピュータの基本操作、知的財産権、計測・制御、生物育成の技術
学年末	情報のまとめ		
学習方法(アドバイス等)	<p>日常の中から課題を見だし、関心を持って意欲的に課題の解決方法を構想し、情報を共有しながら課題解決に取り組む。取り組みの中で必要があれば構想を修正し、課題解決後には評価・改善・修正してよりよい方法を考える。</p>		

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な操作方法を理解し、適切に活用することができる。 ・情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、知的財産権や情報モラルの必要性について理解している。 ・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みが理解できる。 ・計測制御の仕組みが理解できる。 ・安全・適切なプログラムの製作、動作の確認及びデバック等を行うことができる。 ・生活や社会、環境と情報との技術の関わりを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・技術科プリント ・行動観察 ・作品
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中から情報に関わる問題を見いだして課題を設定することができる。 ・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想して情報処理の手順を具体化することができる。 ・入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化することができる。 ・製作の過程や結果の評価、改善、修正について考えることができる。 ・情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、改良と応用について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・技術科プリント ・レポートの内容 ・行動観察 ・作品
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 ・自らの知識・技能を身に付けられるように取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート内容 ・技術科プリント ・行動観察

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	情報の技術	コンピュータが情報処理をするしくみ	7	<ul style="list-style-type: none"> 情報の表現、記録、計算、通信の特性が理解できる。 情報のデジタル化や処理の自動化の方法が理解できる。
	5		情報通信ネットワークの仕組み		<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの基本的な構成について理解できる。 情報機器の識別やインターネットで情報を通信する工夫について理解できる。
	6		情報モラル		<ul style="list-style-type: none"> インターネットの利点や欠点が理解できる。
	7		双方向性のあるコンテンツのプログラミング ・コンテンツとメディア ・双方向性のあるコンテンツのプログラムの作成 ・製作したコンテンツの評価・改善・修正		<ul style="list-style-type: none"> 文字、音声、静止画などメディアごとのコンテンツの違いが理解できる。 生活の中から課題を見だし、解決する方法を考えることができる。 プログラムの役割が理解できる。 ユニバーサルデザイン等の視点からコンテンツをデザインしプログラミングできる。 処理方法を理解し、活用しながらプログラミングできる。 利用規約の必要性を理解し、必要な条文を作成することができる。 掲示板など双方向性のあるコンテンツの改善点を評価・判断することができる。
2	9	情報の技術		8	<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現のために新たなアイデアを考えることができる。
	10		知的財産権 ・著作権 ・産業財産権		<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権の意味や内容について理解している。 知的財産権について、生活の中にある課題を見だし、解決方法を考えることができる。
	11		計測・制御 ・計測制御システムの構成と流れ ・制御プログラムの作成		<ul style="list-style-type: none"> 計測制御システムの情報の流れが理解できる。 センサの種類と用途を理解する。 計測制御システムが生活や社会の中で広く使われていることが理解できる。
	12		・製作したプログラムの評価、改善、修正		<ul style="list-style-type: none"> 生活の中から課題を見だし、解決する方法を考えることができる。 計測制御の使用目的や使用条件に合ったプログラムを作成することができる。 計測制御システムのプログラムを評価・改善・修正することができる。
3	1	情報の技術	社会の発展と情報の技術 ・よりよい社会の実現や持続可能な社会の構築に向けた情報の技術による問題解決	3	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習と情報の技術がよりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に果たす役割や影響を踏まえ、情報の技術の概念を説明できる。 情報の技術を評価し、新たな発想に基づいた改良や応用の仕方を考えることができる。
	2		・今後の情報の技術の在り方		

教科名	家庭	週時間数	0.5	学年	3
使用教科書及び副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技術・家庭 家庭分野（教育図書） ・技術・家庭 ハンドノート 家庭分野（正進社） 				

指導の重点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学びに向かう態度」				
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現のために、生活の基盤となる家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な知識の理解し、それらに係る技能を身につける。 ・学習した知識及び技能を活用し、生活の中に問題を見いだして課題を設定し、これからの生活を展望して課題を解決する力をつける。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする態度を身につける。 				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は、教科書の内容を中心に、プリントを使って学習を進めていきます。 ・学習内容によっては、班別学習で、課題について話し合い、意見をまとめる。 				
定期テスト	出題方針	授業で学習した内容を中心に、「知識・技能」「思考・判断・表現」における基礎的な問題を出題します。			
	範囲(予定)	1学期期末	私たちの衣生活、私たちの住生活		
		2学期中間			
		2学期期末	私たちの住生活、私たちの消費生活		
		学年末	1年間のまとめ（私たちの衣生活、住生活、消費生活）		
学習方法(アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中し、課題は意欲的に取り組もう。 ・提出物は期限を守って、必ず提出しましょう。 ・学習した内容は、自分の生活の中に取り入れ実践しよう。 				

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、衣服の適切な選択について理解している。 ・既製服の表示から繊維の特徴や手入れの方法を読み取ることができる。 ・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方、自然災害に備えた安全な住まい方など、家族の安全を考えた住空間の整え方を理解している。 ・売買契約の仕組み、いろいろな販売方法と支払方法の特徴について理解できる。 ・身近な消費者トラブルの事例とその解決方法を理解できる。 ・消費者の権利と責任について理解できる。 ・自分や家族のエネルギー消費が環境に与える影響を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・プリントの内容 ・行動観察
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択及び、衣服の材料や状態に合わせた日常着の洗濯について考え、工夫している。 ・安全な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、住空間の整え方について考え、工夫することができる。 ・物資やサービスの購入について問題点を見出して課題を設定し、解決策を考察し表現することができる。 ・買い物の意思決定のプロセスを理解し、商品の購入について考えることができる。 ・消費者としての自覚を高め、よりよい消費生活について考えるとともに、実生活でどのように生かすことができるか構想し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの内容 ・定期テスト ・行動観察
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、住居の機能と安全な住まい方、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返り、問題を改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自らの知識・技能を身に付けられるように取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業出席 ・課題等の提出状況 ・プリントの内容 ・行動観察

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4 5 6 7	B編 衣食住の生活 4章 私たちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った衣服を手に入れよう ・衣服の手入れをしよう ・衣服の働きを知ろう ・目的に合わせて自分らしく着よう ・住まいの働きを知ろう ・健康を守る室内環境の整え方を考えよう ・家庭内事故から家族を守ろう 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の表示から情報を読み取り活用することができる。 ・衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を理解する。 ・繊維の種類、既製の表示について理解する。 ・衣服の役割を理解する。 ・目的に応じた着方を踏まえ、自分らしい着方を工夫できる。 ・住まいの基本的な働きや生活行為と住まいの空間に関する関係について理解する。 ・室内の空気を清潔に保つ必要があることを理解する。 ・家庭内事故を防ぐための工夫や対策を考える。
2	9 10 11 12	私たちの住生活 C編 消費生活・環境 1章 私たちの消費生活 2章 消費者の権利と責任	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた安全な住まい方を考えよう。 ・買い物を振り返ってみよう ・買い物の法律的な意味を考えよう ・いろいろな販売方法と支払い方法を知ろう ・消費者トラブルを防ごう ・消費者を支える仕組みを知ろう ・消費者の権利と責任について考えよう 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に備えた安全な住まいの整え方を理解し、対策を考えることができる。 ・意思決定のプロセスにそって、商品購入を考えることができる。 ・契約について知り、それに伴って発生する権利と義務を理解する ・いろいろな販売方法と支払方法の特徴について理解できる。 ・中学生に身近な消費者トラブルについて理解する。 ・消費者を守る法律や制度を理解し、消費者トラブルの解決方法がわかる。 ・消費者の権利と責任について理解できる。
3	1 2	消費者の権利と責任	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活が社会に与える影響を考えよう ・環境に及ぼす影響を考えて行動しよう 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族のエネルギー消費が環境に与える影響を理解できる。 ・エネルギー消費を減らす方法を考え、実践できる。 ・環境に配慮した生活を工夫することができる。

*学校行事等で計画と異なる場合があります

教科名	英 語	週時間数	4	学年	3
使用教科書及び副教材等	NEW HORIZEN English Course 3 (東京書籍) ・英語ワークノート (新学社)・英語のパートナー (正進社)・基礎をきずく (浜島書店) (3学期より入試対策の副教材を追加予定) ファイル				

指導の重点	「表現力」 「問題解決力」 「学ぶ意欲」				
教科のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指します。				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法や単語などの習得後、それを使ったコミュニケーション活動や表現活動をペアやグループで行い、学習意欲を高めます。 ・単語テストや基本文テスト、単元テストの活用を通して学習内容の定着を図ります。 				
定期テスト	出題方針	授業で学習した内容を中心に以下の観点別に出題します。 「知識・技能の能力」…リスニング問題や授業で学習した範囲の単語・文法を用いた長文や、文法に関する出題をします。 「思考・判断・表現の能力」…自分の意見や考えを書く問題を中心に出題します。			
	範囲(予定)	1学期期末	Unit0 / Unit1/ Listening / Learning / Unit2 / Unit3		
		2学期中間	Unit 3 / Stage Activity / Let' s Read 1 / Unit 4		
		2学期期末	Unit 5 / Stage Activity / Unit 6		
学年末	Unit 6 / Let' s read 2				
学習方法 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中し、ペア・グループ活動に意欲的に参加しよう。 ・単語調べやワークなどの宿題を通して予習や復習の習慣をつけよう。 ・提出物は期限を守り、理解度が高まる工夫をして仕上げて提出しよう。 ・わからないところや疑問点はそのままにせず、早めに質問して解決しておこう。 				

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評 価	①知識・技能	教科書の内容を中心に、言語の運用についての基本的な知識を身につけるとともに、その背景にある文化についても理解している。	・定期テスト、小テスト ・ふり返りシート
	②思考・判断・表現	授業で学習した単語・文型を用いて、自分の考えや気持ち等を表現することができる。	・定期テスト、小テスト ・スピーチ活動 ・パフォーマンステスト
価	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関心をもち、授業時の言語活動に積極的、意欲的に取り組んでいる。 ・相手(話し手、聞き手、読み手、書き手)に配慮しながら、主体的に英語を用いてやり取りをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子(行動観察) ・定期テスト、小テスト、ふり返りシート ・ノート・ワーク等の内容や提出状況 ・ペアワーク、考えの交流

年 間 授 業 計 画 書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	Unit0 Discover A New Side of Classmates	・受け身	4	□受け身の表現を正しく理解し、運用する。
		Unit1 What is special about Japanese pop culture?	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形(経験) ・make~「~を…にする」 ・SV00 	12	<ul style="list-style-type: none"> □「経験」を表す現在完了を正しく理解し、運用する。 □makeの使い方を正しく理解し、運用する。 □SV00の文を正しく理解し、運用する。
	5	Unit2 How do you choose your clothes?	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形(完了、継続) ・現在完了進行形 	1 12	□「完了」「継続」を表す現在完了を正しく理解し、運用する。
		Grammar for Communication1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了(進行)形 現在完了(進行)形 	2 2	□既習文法の使い方と形、使用される場面を確認する。

	6	Unit3 How can save animals?	・ It is (for+人など)… to ・ want+人など)+to ・ let, helpと動詞の原形 ・ 不定詞	12 1 12 2 2 2 2	□不定詞の表現を正しく理解し、運用する。 □社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書く。 □これまでの経験をふり返って活動報告を発表する。
2	9 10 11 12	Let' s Read 1 A Mother' s Lullaby Unit4 How can we help each other in a disaster? Unit5 What makes a good leader? Grammar for Communication 3 Unit6 What does it mean to be a global citizen? Grammar for Communication 4	・ 関節疑問文 ・ 現在分詞、過去分詞を使 った後置修飾 ・ 名詞を修飾する文 ・ 関係代名詞 (who) ・ 関係代名詞that、which ・ 仮定法	6 1 12 2 1 12 2 2 1 12 2 2 1	□物語を読んで、場面の变化や登場人物の心情などを理解し、気持ちを含めて音読する。 □災害情報を聞き、どう行動すればよいか理解できるようになる □関節疑問文を正しく理解し、運用する。 □動詞+(人)+whatなどで始まる節を正しく理解し、運用する。 □現在分詞、過去分詞の文を正しく理解し、運用する。 □相手の立場に立って、具体的な提案をしながら応答する。 □テレビ番組(ニュース)の音声を聞いて、概要や要点を理解する。 □関係代名詞(主格)who/which/that・(目的格)which/thatについて正しく理解し、運用する。 □資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書く。 後置修飾の文の使い方と形、使用される場面を確認する。 □日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書く。 □人物の経歴を聞いて、概要を理解する。 □仮定法の文を正しく理解し、運用する。 □仮定法の文の使い方と形、使用される場面を確認する。
3	1 2 3	Stage Activity 3 Let' s Read 2 Power Your Future Let' s Read 3 Coloring outside the Lines 入試対策問題	・ 既習事項の総復習	2 6 4 4	□主張とその理由を明確にしながら、ディベートをする。 □エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べる。 □スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝える。 □入試対策問題に取り組む。

教科名	道 徳	週時間数	1	学 年	3
使用教科書及び副教材等	・教科書 あすを生きる(日本文教出版) ・副教材 ポートフォリオ				

指導の重点	「自ら考え、進んで周囲を支える生徒」の育成
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけるとともに、心身の健康の増進を図る。 ・自己肯定感が持てるようになる。 ・他の人に対する思いをもち、自分の思いを素直に言える優しい雰囲気を作る。 ・自分の役割に責任をもち、自ら行動できるようになる。
授業の進め方	・授業では、教科書「あすを生きる」を活用する。教科書付属のノートも活用し、自分の思いや考えを表現するとともに、班やクラスで意見を交流し、考え方の視野を広げていく。また副教材ポートフォリオ、必要に応じてプリントなど教科書以外の教材も活用していく。
定期テスト	
学習方法 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やワークシート、教科書付属ノート、ポートフォリオを活用していく。 ・人の発表や発言をしっかりと聞いたりできるような、話し合いの場を作る。その上で自分と他の人の考えの違いを認め、自分の意見をはっきりと言えるような話し合いを行う。 ・学習の中で出てくる問いかけや疑問に対して、自分自身の考えや思いを表記していく。
評価	学習した項目を通して、学んだことや、感じ取ったこと、受け取り方や考え方など変化の様子を文章によって評価する。

年 間 授 業 計 画

学期	月	内 容 項 目	時数	学 習 内 容
1	4	・よりよく生きる喜び		・風に立つライオン
		・希望と勇気、克己と強い意志		・相撲を世界に
	5	・よりよい学校生活、集団生活の充実		・世界のロッカールーム
		・勤労		・あるレジ打ちの女性
		・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度		・使い手を驚かせて魅了する
	6	・友情、信頼		・違うんだよ、健司
		・公正、公平、社会主義		・卒業文集最後の二行
7	・国際理解、国際貢献		・命のトランジットビザ	
	・生命の尊さ		・エリカー奇跡のいのち	
	・自主、自律、自由と責任		・私も高校生	
2	9	・相互理解、寛容		・親友と語り合った「孤独の解消」
		・社会参画、公共の精神		・No Charity, but a Chance!
		・向上心、個性の伸長		・新しい夏のはじまり
	10	・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		・「稲むらの火」余話
		・公正、公平、社会主義		・命の大切さ
		・友情、信頼		・ゴリラのまねをした彼女を好きになった
	11	・向上心、個性の伸長		・カラフルな世界で
		・遵法精神、公德心		・二通の手紙
		・よりよく生きる喜び		・世界を動かした瞳
	12	・思いやり、感謝		・電車の中で
		・勤労		・失った笑顔を取り戻す
		・社会参画、公共の精神		・海のごみは「まちなか」で生まれる
		・自然愛護		・「川端」のある暮らし
・真理の探究、創造			・ちょっと寄り道を一研究者・眞鍋淑郎	
・自主、自律、自由と責任			・町内会デビュー	
・生命の尊さ			・臓器提供	
・節度、節制		・独りを慎む		

		・礼儀		・マナーってなんだろう
3	1	・感動、畏敬の念		・星空を届けたい
		・国際理解、国際貢献		・本とペンで世界を変えよう
		・よりよく生きる喜び		・生きてこそー石井筆子の生涯ー
	2	・思いやり、感謝		・塩むすび
		・家族愛、家庭生活の充実		・一冊のノート
		・遵法精神、公德心		・キラー・ゼブラと呼ばれて
		・社会参画、公共の精神		・サトシの一票
	3	・生命の尊さ		・希望

令和8年度 鈴峰中学校 評価の出し方

【国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭、英語】

評 価	組み合わせ：観点のABCの順番が入れ変わっていても、評価は同じになります。				
5	AAA	AAB			
4	AAA	AAB	AAC	ABB	
3	ABB	ABC	BBB	BBC	ACC
2	BCC	CCC			
1	CCC				

【道徳】

文章表記の評価となります。